

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Kanai T Kanai Y Ono Y Mikami Y Okazawa A Hayashi A Sujino T Matsuoka K Hisamatsu T Okamoto S Inoue N Yoshimura A and <u>Hibi T</u>	Lymphotoxin alpha-expressing lymphoid-tissue inducer cells are essential for the development of intestinal Th17 cells.	DigestiveDisease Week 201	New Orlean	2010年5月1～5日
Hisamatsu T Kamada N Takayama T Saito R Okamoto S Kanai T and <u>Hibi T</u>	Abnormal response to commensal by intestinal macrophages play the central roles for pathogenesis of crohn's disease.	DigestiveDisease Week 201	New Orlean	2010年5月1～5日
Mikami Y Kanai T Okazawa A Ono Y Hayashi A Sujino T Kamada N Matsuoka K Hisamatsu T Okamoto S Takaishi H Inoue N and <u>Hibi T</u>	Competition between colitogenic T helper 1- and 17- CD4+ T cells contributes to the Amelioration of colitis.	DigestiveDisease Week 201	New Orlean	2010年5月1～5日
Sujino T Kanai T Ono Y Mikami Y Hayashi A Doi T Matsuoka K Hisamatsu T Yoshimura A and <u>Hibi T</u>	CD4+CD25+ Regulatory T Cells Suppress the Development of Colitis By Blocking the Differential Pathway from Th17 and Th17/Th1 to Th1 cells.	5th Japan-Korea IBD Symposium	Seoul	2010年10月2日
Hosoe N Ogata H Bessho R Saito R Ida Y Naganuma M Inoue N Kanai T Imaeda H Iwao Y and <u>Hibi T</u>	Effect of the capsule endoscopy software to reduce miss recognition and reading time for beginners.	75th Annual Scientific Meeting of the American College of Gastroenterology	San Antonio	2010年10月15～20日
今枝博之 細江直樹 <u>目比紀文</u>	当院における小腸疾患に対する内視鏡治療の検討	第96回日本消化器病学会総会パネルディスカッション	新潟	2010年4月22-24日

高山哲朗 鎌田信彦 知念 寛 久松理一 北爪美奈 齋藤理子 岡本 晋 金井隆典 且比紀文	腸管NKp44+NKp46-/NKp44-NKp46+NK細胞の不均衡がクローン病の病態に関与する	第96回日本消化器病学会総会	新潟	2010年4月22日
筋野智久 金井隆典 三上洋平 小野祐一 金井康真 林 篤史 高山哲朗 一松 収 岡沢 啓 松岡善克 久松理一 井上 詠 緒方晴彦 岡本 晋 且比紀文	CD4+CD25+制御性T細胞による慢性大腸抑制におけるTh1/Th17バランスの是正機能	第96回日本消化器病学会総会	新潟	2010年4月22日
三好 潤 矢島知治 岡本 晋 松岡克善 井上 詠 中澤 敦 久松理一 島村克好 金井隆典 緒方晴彦 岩男 泰 且比紀文	糖鎖抗原に着目した炎症性腸疾患の病態への新規アプローチ-腸管上皮における血液型抗原の発現についての検討	第47回日本消化器免疫学会総会	滋賀	2010年7月8日
久松理一 鎌田信彦 高山哲朗 齋藤理子 米野和明 松岡克善 岡本 晋 井上 詠 緒方晴彦 金井隆典 且比紀文	腸管マクロファージからみたクローン病のサイトカインネットワーク異常	第47回日本消化器免疫学会総会	滋賀	2010年7月9日
細江直樹 緒方晴彦 且比紀文	慢性維持透析患者における小腸病変のサーベイランス	第52回消化器病学会大会	横浜	2010年10月14日
Kuzuoka H Andoh A Suzuki Y Matsui T Fujiyama Y Mtsumoto T	Fecal microbiota showed remarkably skewing in patients with Crohn's disease by terminal restriction fragment length polymorphism analysis.	UEGW 2010	Centro de Convenciones Internacionales de Barcelona (CCIB)	2010年10月24~29日

Tsujikawa T Andoh A Fujiyama Y Nakamura S Matsumoto T Hosoe N Suzuki Y Hirai F Matsui T	Exhaustive analysis of inflammation, nutrition, and oxidative stress in Crohn's disease during induction therapy.	UEGW 2010	Centro de Convenciones Internacionales de Barcelona (CCIB)	2010年10月24～30日
Imaeda H Andoh A Bamba S Tsujikawa T Fujiyama Y	Inflammatory cytokines regulate Delta-like 1, Delta-4, Jagged-1 in murine and human colonic subepithelial myofibroblast.	The 1 st JSGE International Topic Conference	鎌倉パークホテル	2010年9月25日
辻川知之 安藤 朗 馬場重樹 佐々木雅也 藤山佳秀	ワークショップ「小腸病変評価の標準化に向けて」;クローン病の小腸病変に対するシグナルルーメン小腸内視鏡による病変評価の有用性	第7回日本消化管学会	国立京都国際会館	2011年2月19日
金内 理 光山慶一 半田 修 安藤 朗 藤山佳秀 佐田通夫	ワークショップ「炎症性腸疾患の治療に向けた新規治療標的分子」;Prebioticsによる炎症性腸疾患の補助的治療ならびに長期罹患時の大腸ガン発症リスクの低減作用について	第7回日本消化管学会	国立京都国際会館	2011年2月19日
青松友槻 余田 篤 井上敬介 松本恭一 木村恵美 安藤 朗 藤山佳秀 玉井 浩	小児炎症性腸疾患における便中カルプロテクチンの有用性	第7回日本消化管学会	国立京都国際会館	2011年2月18日
安藤 朗 辻川知之 藤山佳秀	シンポジウム「炎症性腸疾患治療の新潮流」;日本人炎症性腸疾患のチオプリン高感受性の遺伝的背景の検索	第31回日本臨床薬理学会年会	国立京都国際会館	2010年12月1日
辻川知之 安藤 朗 藤山佳秀	シンポジウム「希少または原因不明の小腸病変」;慢性貧血を呈する原因不明小腸潰瘍症例の検討	第48回小腸研究会	名古屋栄東急イン	2010年11月13日
児堀綾子 辻川知之 馬場重樹 安藤 朗 佐々木雅也 斉藤康晴 藤山佳秀	悪性リンパ腫との鑑別が困難であった原因不明小腸潰瘍症の1例	第48回小腸研究会	名古屋栄東急イン	2010年11月13日

児堀綾子 八木有紀 今枝広丞 伴 宏充 馬場重樹 斉藤康晴 藤山佳秀 安藤 朗	炎症性腸疾患におけるIL-33発現誘導機構の検討	第52回日本消化器病学会大会	パシフィコ横浜	2010年10月14日
伴 宏充 安藤 朗 今枝広丞 児堀綾子 稲富 理 馬場重樹 辻川知之 佐々木雅也 斉藤康晴 藤山佳秀	Th1細胞分化に対するIL-17Aの効果の検討	第52回日本消化器病学会大会	パシフィコ横浜	2010年10月14日
今枝広丞 安藤 朗 伴 宏充 児堀綾子 馬場重樹 辻川知之 藤山佳秀	HT29細胞におけるIL32新規variant強制発現による炎症性サイトカインの発現様式の変化について	第47回日本消化器免疫学会総会	大津プリンスホテル	2010年7月8日
辻川知之 安藤 朗 佐々木雅也 藤山佳秀	高齢者におけるシングルバルーン小腸内視鏡検査の特徴と問題点	第52回日本老年医学会学術集会	神戸商工会議所	2010年6月25日
辻川知之 馬場重樹 斉藤康晴 安藤 朗 藤本剛英 高橋憲一郎 望月洋介 西田淳史 塩谷 淳 西村貴士 小泉祐介 稲富 理 仲原民夫 佐々木雅也 藤山佳秀	バルーン小腸内視鏡時の眸アミラーゼ上昇の危険因子	第79回日本消化器内視鏡学会総会	グランドプリンスホテル高輪	2010年5月14日
Watanabe M	Novel insight into the pathogenesis of inflammatory bowel disease.	International Symposium of Advances in Medical and Surgical Treatment of Colorectal disorders 10-13 de august 2010	Chile	2010年8月12日
Watanabe M	Double balloon enteroscopy as superb diagnostic and research tool.	International Symposium of Advances in Medical and Sargaical Treatment of Colorectal disorders 10-13 de august 2010	Chile	2010年8月12日

渡辺 守	生体センサーとしての腸上皮	Bio Japan 2010	横浜	2010年9月3日
Fukata N Uchida K Kusuda T Koyabu M Fukui T Matsushita M Nishio A Nakase H Chiba T Tabata Y <u>Okazaki K</u>	Development of oral drug delivery system with cyclosporine in experimental colitis.	Annual Meeting of American Gastroenterological Association	New Orleans, USA	2010年5月3日
Omiya M Matsushita M Tanaka T Kawamata S <u>Okazaki K</u>	No deep ulcer predicts latent cytomegalovirus infection in ulcerative colitis with positive mucosal viral assay.	The 4th Korea-Japan IBD Symposium	Tokyo	2010年1月23日

社会活動報告

社会活動に関する一覧表

活動者名(所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
清水誠治(大阪鉄道病院)	第50回日本病理学会近畿支部学術集会「炎症性腸疾患(広義)の診断」	京都府立医科大学	2010年9月11日
清水誠治(大阪鉄道病院)	第24回日本消化器内視鏡学会近畿セミナー「炎症性腸疾患を中心とした内視鏡診断学」	大阪国際交流センター	2010年12月18日
田中正則	「臨床と病理の接点を考える会」で特別講演。 演題名「IBDの病理:IBDの病理所見がそろわない時の診断」	メトロポリタン盛岡(盛岡)	2010年4月3日
田中正則	「第4回大久保消化器病理カンファ」で特別講演。 演題名「ペーチェット病の病理」	国立国際医療センター(東京)	2010年12月7日

研究事業報告

厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業
「原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究」
平成 22 年度第 1 回総会プログラム（敬称略）

開会（13:00）

I. 主任研究者挨拶 日比紀文

II. 研究発表

単純性潰瘍の実態調査について（13:05～13:20）

○井上 詠、日比紀文（慶應義塾大消化器内科）

実態調査における課題について（13:20～13:35）

○清水誠治（大阪鉄道病院消化器内科）

当院におけるカプセル内視鏡・バルーン内視鏡を用いた小腸病変の実態について
（13:35～13:50）

○辻川知之、安藤 朗、藤山佳秀（滋賀医大消化器内科）

NEMO 異常症に伴う回盲部潰瘍（外胚葉形成不全免疫不全症候群）について
— 2 小児例の検討 —（13:50～14:05）

○余田 篤、井上敬介、宮崎敬士、玉井 浩（大阪医大小児科）
青松友槻、藤山佳秀（滋賀医大消化器内科）

単純性潰瘍の診断基準（案）（14:05～14:20）

○岡崎和一（関西医大内科 3）

腸管ベーチェット病・単純性潰瘍の治療効果の検討
— 後ろ向きに検討する際の問題点 —（14:20～14:35）

○長沼 誠、渡辺 守（東京医歯大消化器内科）、
井上 詠、日比紀文（慶應大消化器内科）

難治性腸管ベーチェット病・単純性潰瘍に対する
リポ化ステロイドの有効性についての検討（14:35～14:50）

岡崎和一、○島谷昌明、松下光伸（関西医大内科 3）

腸型 Behçet 病と単純性潰瘍の病態比較（14:50～15:05）

○高木靖寛、古賀彰浩、平井郁仁、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）

腸管ベーチェット病とクローン病の組織像－免疫組織化学的所見を含めて－
(15:05～15:20)

○田中正則（弘前市立病院臨床検査科）

非特異性多発性小腸潰瘍症の内視鏡所見：NSAIDs 起因性小腸潰瘍症との比較
(15:20～15:35)

○松本主之（九州大病態機能内科）

非特異性多発性小腸潰瘍症の特徴的画像所見

自験例および研究班施設症例の検討（15:35～15:45）

○山本博徳（自治医大富士フィルム国際光学医療）

Ⅲ. 閉会の挨拶 日比紀文

平成 22 年度第 1 回総会出席者

平成 22 年 7 月 30 日（金） 参加者 76 名（敬称略）

日比紀文（慶應大消化器内科）

松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器）、藤山佳秀（滋賀医大消化器内科）、

渡辺 守（東京医歯大消化器内科）、山本博徳（自治医大富士フィルム国際光学医療）、

岡崎和一（関西医大内科 3）、松本主之（九州大病態機能内科）、

清水誠治（JR 鉄道病院消化器内科）、田中正則（弘前市立病院臨床検査）、

那須野正尚（札幌医大内科第 1）、田中浩紀、本谷 聡（札幌厚生病院第 1 消化器）、

石黒 陽、桜庭裕丈（弘前大光学医療診療）、遠藤克哉（東北大消化器内科）、

山田哲弘、鈴木康夫（東邦大佐倉病院消化器センター）、渡邊聡明（帝京大消化管外科）、

永石宇治、長沼 誠、岡本 隆一、土屋輝一郎（東京医歯大消化器内科）、

板橋道朗（東京女子医大第 2 外科）、飯塚文瑛（東京女子医大消化器病センター）、

井畑 淳（横浜市大病態免疫制御内科）、大塚和朗（昭和大横浜北部病院消化器センター）、

横山 薫（北里大東病院消化器）、

高木俊介、穂刈量太、渡辺知佳子、上田俊秀、三浦総一郎（防衛医大消化器病学）、

味岡洋一（新潟大診断病理）、飯合恒夫（新潟大 1 外）、谷田論史（名古屋市大消化器内科）、

長坂光夫（藤田保健衛生大消化管内科）、荒木俊光（三重大消化管・小児外科）、

今枝広丞、辻川智之、馬場重樹（滋賀医大内科）、

高木智久、内山和彦、堀江隆介、内藤裕二（京都府医大生体機能分析）、

飯島英樹、新崎信一郎（大阪大消化器内科）、倉本貴典、村野実之（大阪医大消化器内科）、

深田憲将、島谷昌明、田中敏宏（関西医大内科 3）、渡辺憲治（大阪市大消化器器官制御内科）、

福永 健、松本誉之（兵庫医大下部消化管）、大井 充（神戸大消化器内科）、

加藤 順（岡山大肝臓内科）、石原俊治、結城崇史、楠 龍策（島根大消化器内科）、

二見喜太郎（福岡大筑紫病院外科）、平井郁仁（福岡筑紫病院消化器）、

児玉真由美（宮崎医療センター病院）、光山慶一（久留米大消化器内科）、

寄山敏男、指宿和成、藤田 浩、前田拓郎（鹿児島大消化器内科）、大井秀久（今村病院）、

牧野栄一、（アボットジャパン）、桶谷 清、久田正人（エーザイ）

井上 詠、久松理一、松岡克善（慶應大消化器内科）、

事務局：高井由貴、立花佳美（慶應大消化器内科）、

厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業
「原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究」
平成 22 年度第 2 回総会プログラム (敬称略)

開会 (13:00)

I. 研究代表者挨拶 日比紀文

II. 研究発表

単純性潰瘍の実態調査解析－腸管型ベーチェット病との比較－

当施設における腸管型ベーチェット病/単純性潰瘍症例の解析結果 (13:05～13:25)

井上 詠、筋野智久、松岡克善、久松理一、岩男 泰、日比紀文(慶應義塾大消化器内科)

「小腸単純性潰瘍」既報告例の概要 (13:25～13:45)

清水誠治 (大阪鉄道病院消化器内科)

単純性潰瘍、腸管ベーチェットに関する疾患概念と診断基準 (13:45～14:05)

岡崎和一、松下光伸、島谷昌明 (関西医大内科 3)

ベーチェット病に対する抗 TNF- α 療法の効果 (14:05～14:25)

松本主之 (九州大病態機能内科)

ベーチェット病とクローン病の組織学的鑑別における CD138 免疫染色の有用性

田中正則 (弘前市立病院臨床検査科) (14:25～14:45)

カニクイザルカプセル小腸内視鏡の試み

腹痛と CRP 上昇を呈した小腸潰瘍 2 例 (14:45～15:10)

藤山佳秀、安藤 朗、辻川知之、馬場重樹、今枝広丞 (滋賀医大消化器内科)

血管炎に関連した腸管潰瘍の鑑別 (15:10～15:30)

松井敏幸、高木靖寛、平井郁仁 (福岡大筑紫病院消化器内科)

CHUSI と CMUSE との内視鏡所見の比較 (文献的検討) (15:30～15:50)

山本博徳 (自治医大富士フィルム国際光学医療センター)

閉会 (16:00)

日比紀文 (慶應大消化器内科)

松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器)、藤山佳秀 (滋賀医大消化器内科)、

渡辺 守 (東京医歯大消化器内科)、山本博徳 (自治医大富士フィルム国際光学医療)、

岡崎和一 (関西医大内科 3)、松本主之 (九州大病態機能内科)、

清水誠治 (JR 鉄道病院消化器内科)、田中正則 (弘前市立病院臨床検査)、

那須野正尚 (札幌医大内科第 1)、本谷 聡、山下真幸 (札幌厚生病院第 1 消化器)、

石黒 陽、桜庭裕丈 (弘前大光学医療診療)、遠藤克哉 (東北大消化器内科)、

石毛 崇 (群馬大小児)、新畑博英 (自治医大富士フィルム国際光学医療)、

渡邊聡明 (帝京大消化管外科)、福田勝之 (聖路加国際病院 消化器内科)、

長沼 誠 (東京医歯大消化器内科)、市川欧子 (東京臨海病院消化器内科)、

板橋道朗、小川真平 (東京女子医大第 2 外科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、

加藤智弘、有廣誠二 (慈恵医大消化器肝臓内科)、横山 薫 (北里大東病院消化器)、

大塚和朗 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、上野文昭 (大船中央病院)、

穂刈量太、栗原千枝、三浦総一郎 (防衛医大消化器病学)、鈴木健司 (新潟大 3 内)、

谷田論史 (名古屋市大消化器内科)、佐々木誠人 (愛知医大消化器内科)、

長坂光夫、藤田浩史 (藤田保健衛生大消化管内科)、荒木俊光 (三重大消化管・小児外科)、

今枝広丞、辻川智之、馬場重樹、青松友槻 (滋賀医大内科)、余田 篤 (大阪医大小児)

高木智久、内山和彦、辻 俊史 (京都府医大生体機能分析)、大川清隆 (大阪住吉病院)、

飯島英樹、井上隆弘 (大阪大消化器内科)、村野実之 (大阪医大消化器内科)、

深田憲将 (関西医大内科 3)、渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御内科)、

吉田幸治、上小鶴孝二 (兵庫医大下部消化管)、

大井 充、吉江智郎、孝橋道敬 (神戸大消化器内科)、加藤 順 (和歌山医大消化器内科)、

石原俊治、結城崇史、岡 明彦、多田育賢 (島根大消化器内科)、

二見喜太郎 (福岡大筑紫病院外科)、石川智士、矢崎友隆、高木靖寛 (福岡筑紫病院消化器)、

寄山敏男、指宿和成、藤田 浩、前田拓郎 (鹿児島大消化器内科)、大井秀久 (今村病院)、

桶谷 清、矢内恵子 (エーザイ)

井上 詠、久松理一、松岡克善、金井隆典、筋野智久、緒方晴彦 (慶應大消化器内科)

事務局：高井由貴、立花佳美 (慶應大消化器内科)

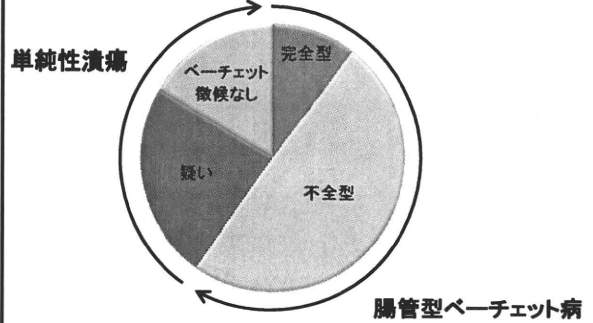
添 付 資 料

原因不明小腸潰瘍症 症例数

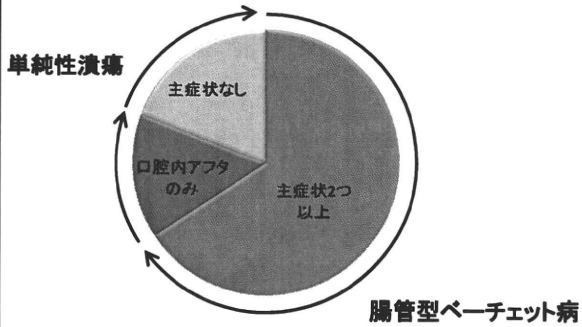
- 単純性潰瘍/腸管ベーチェット 338 (311)
- 非特異性多発性小腸潰瘍症 59 (43)
- その他の原因不明の小腸潰瘍 89 (75)

()内は症例カード数

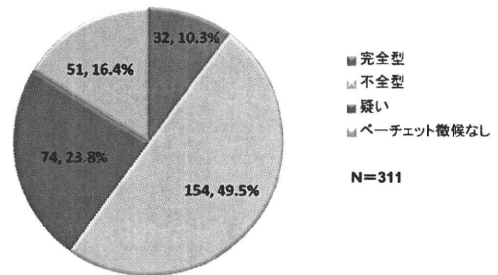
ベーチェット診断基準別



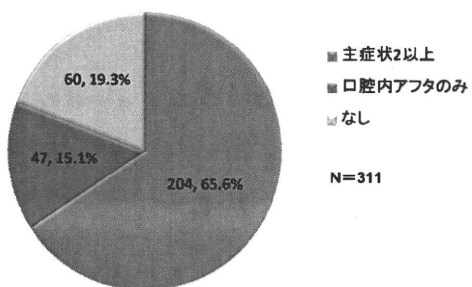
ベーチェット主症状別



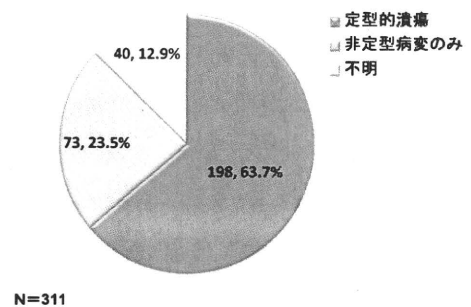
ベーチェット診断基準別

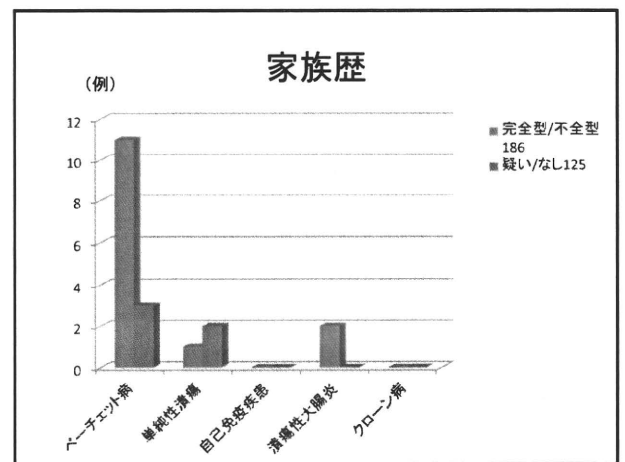
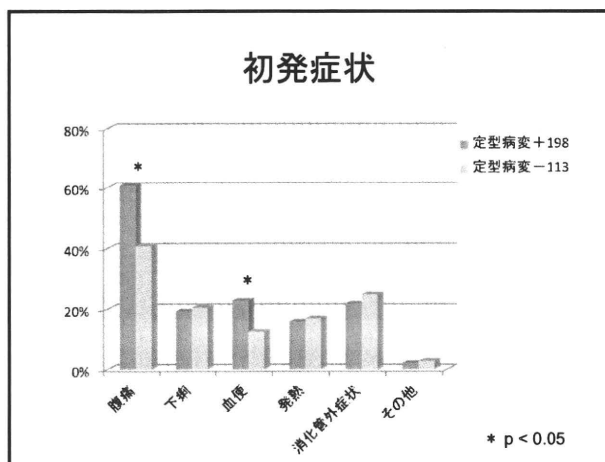
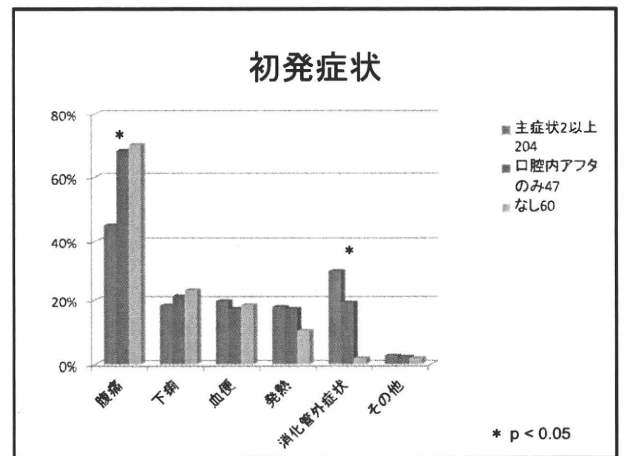
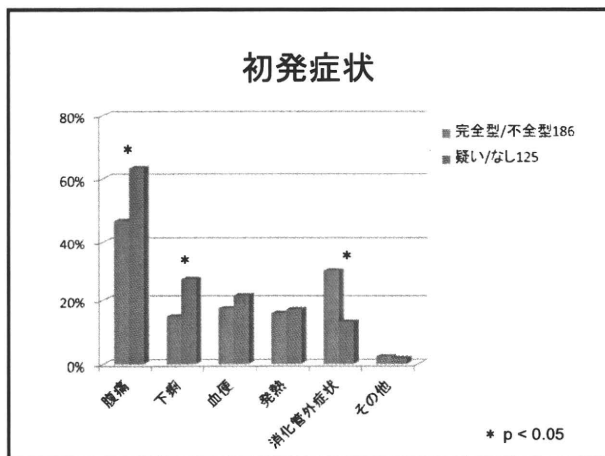
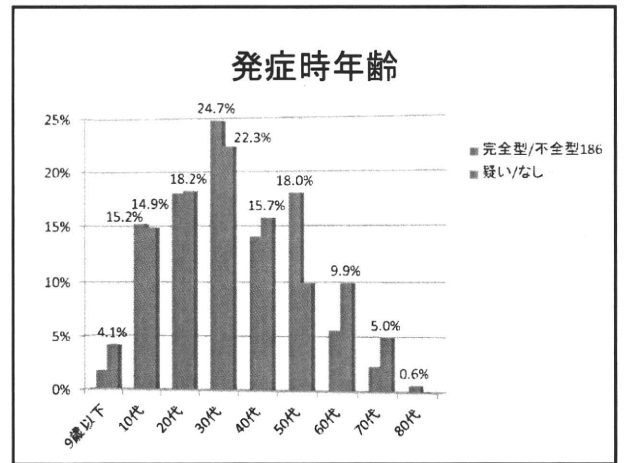
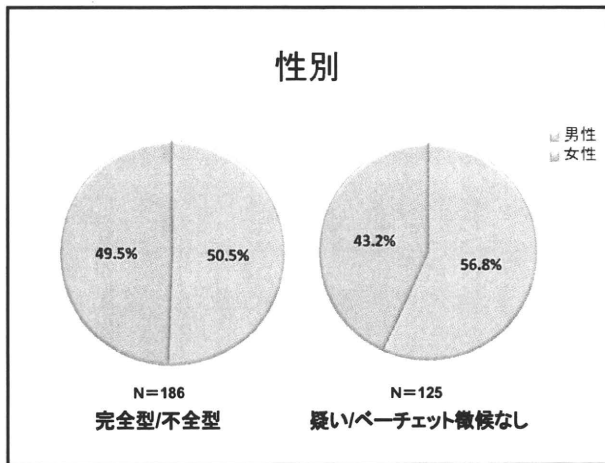


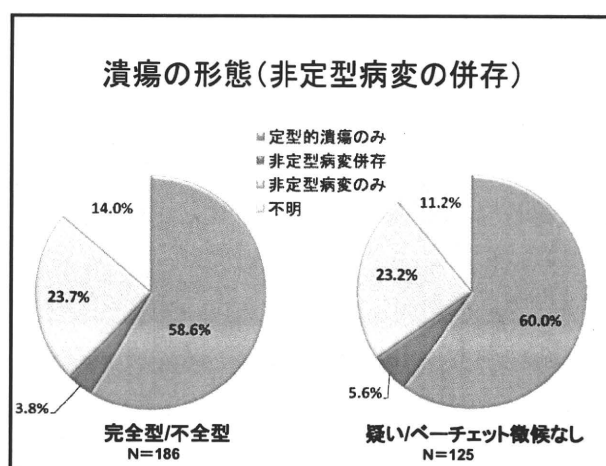
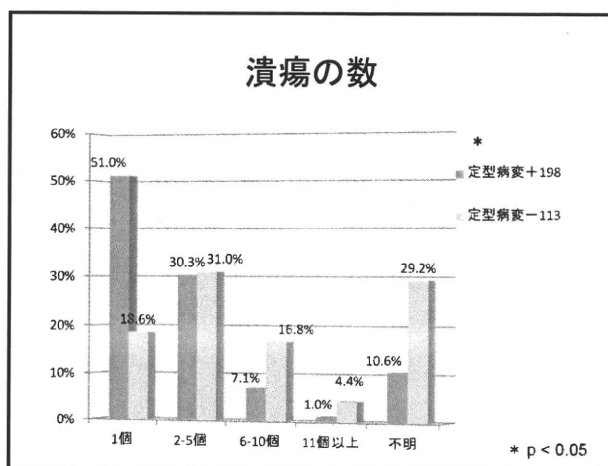
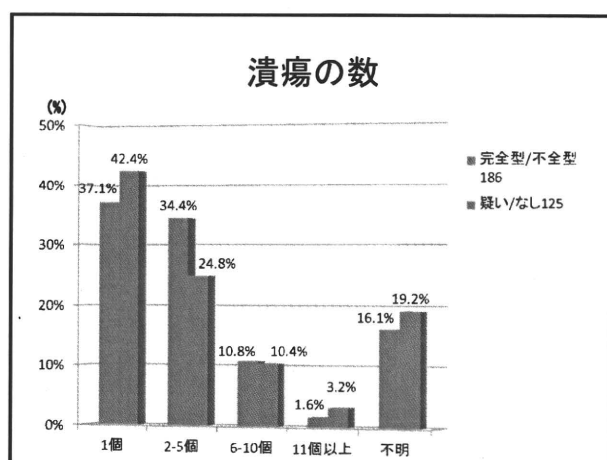
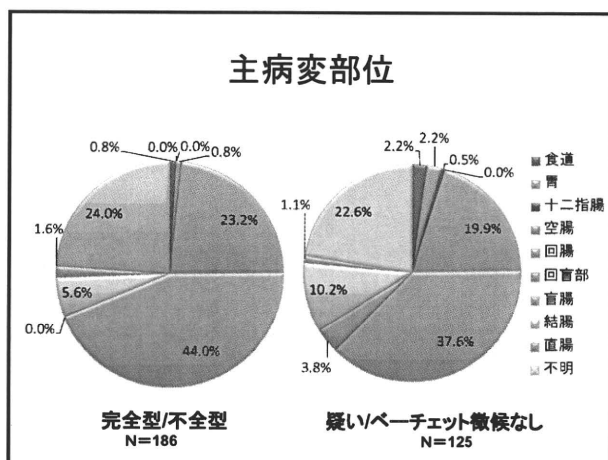
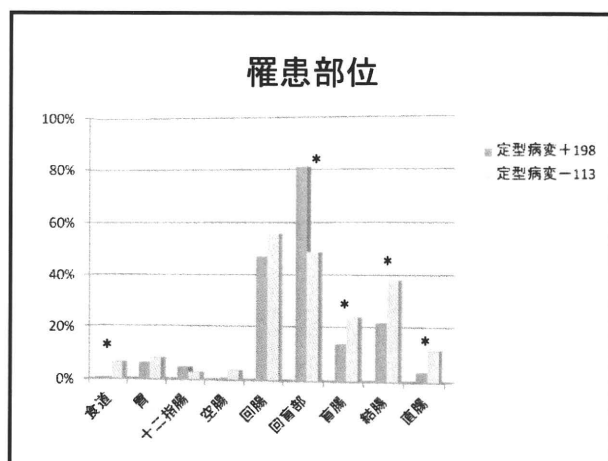
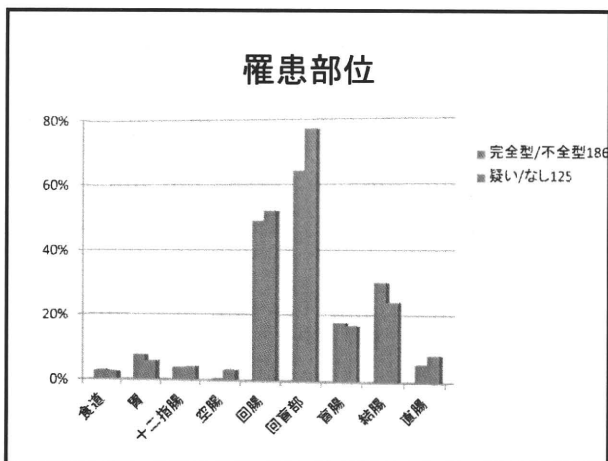
ベーチェット主症状別

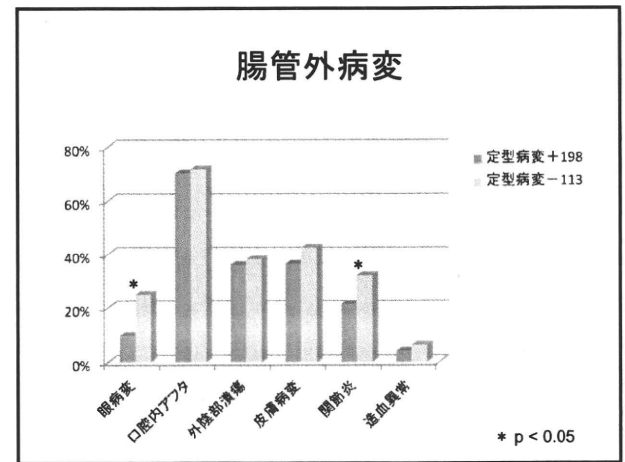
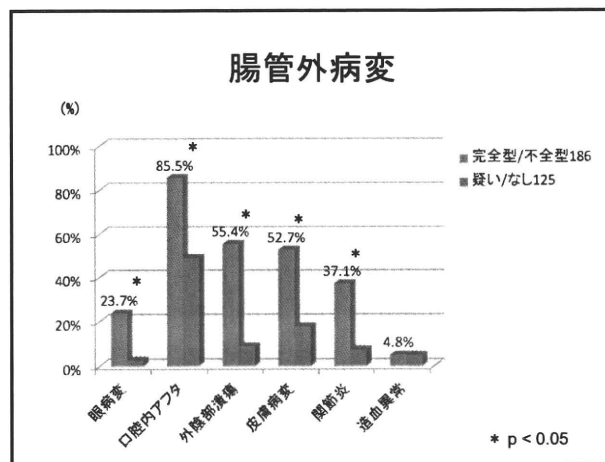
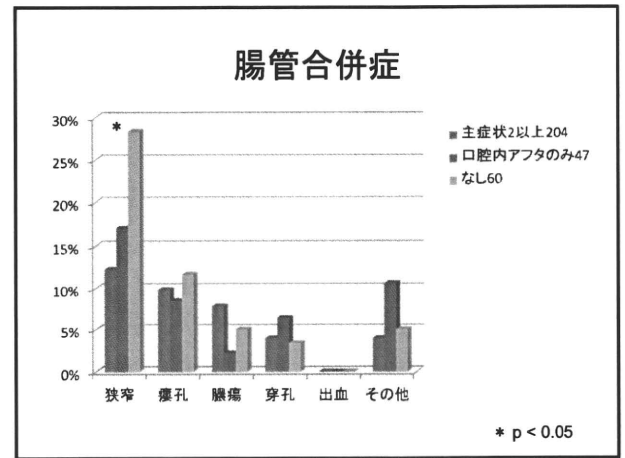
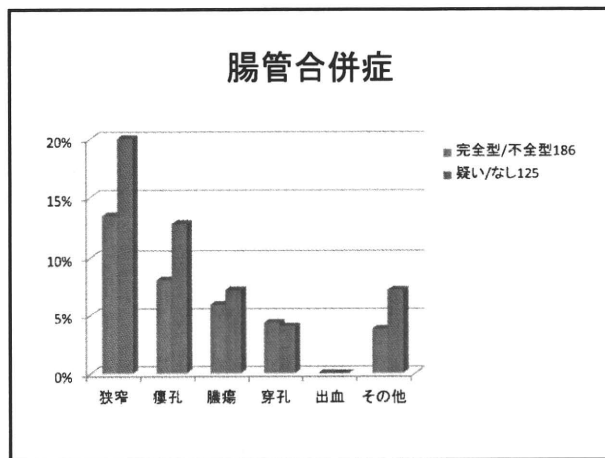
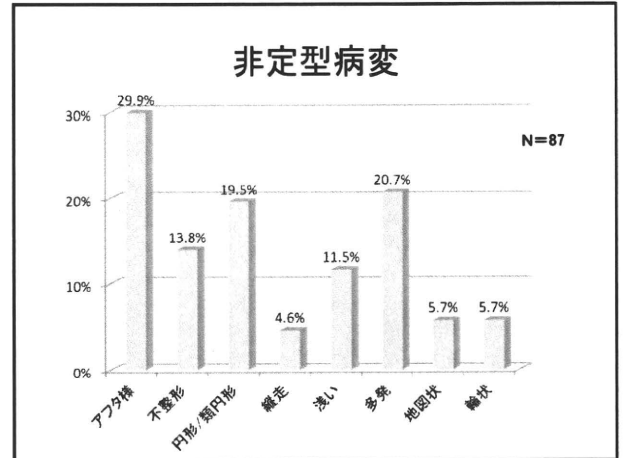
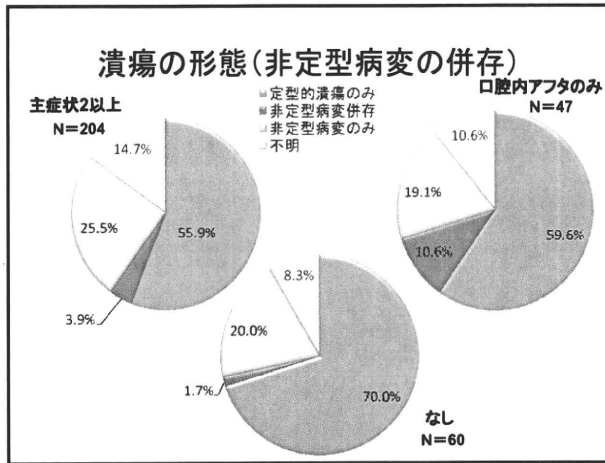


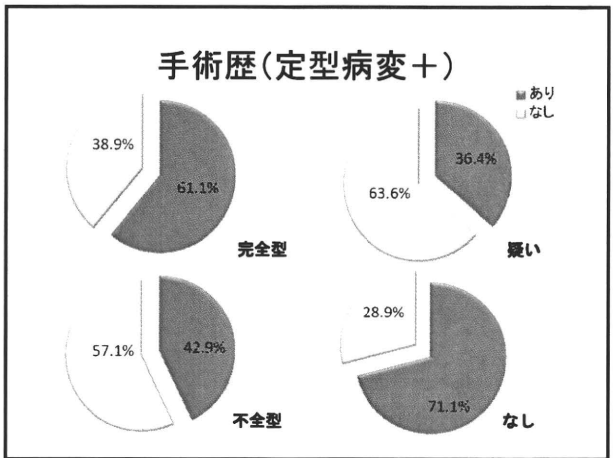
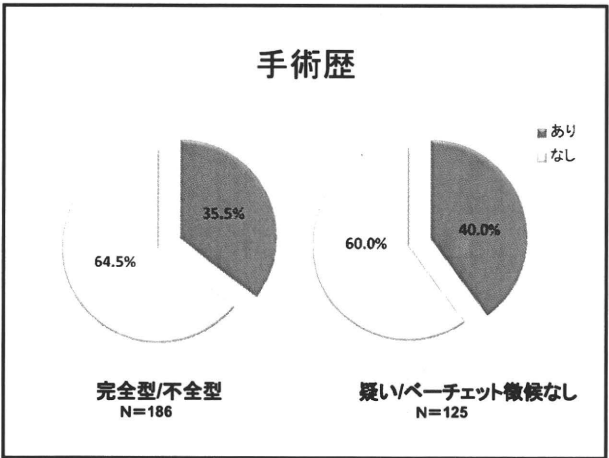
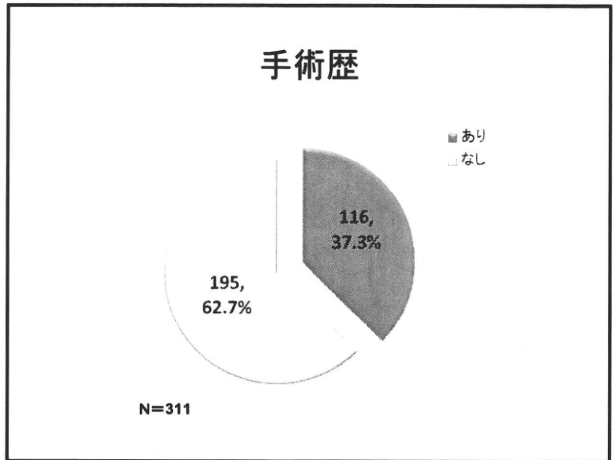
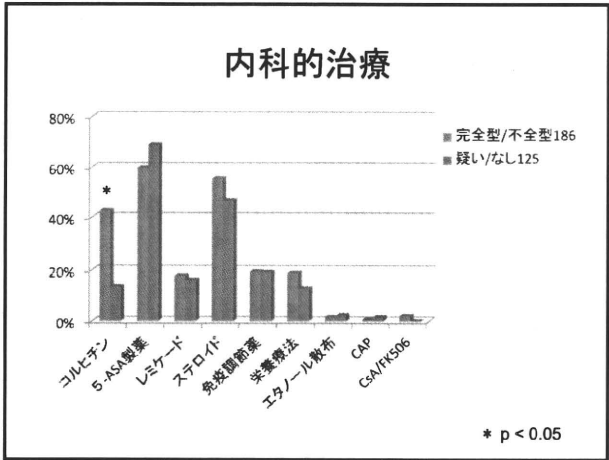
潰瘍の形態











手術例 (116例)

